

始めています 清水町のSDGs

町では、「第5次清水町総合計画」の将来都市像「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」を実現するため、「世界の人々で取り組む『SDGs』」を取組方針の一つとして掲げています。

SDGsの視点を加えた町の取組みについて紹介します。

5月19日(金)に南小学校で環境講座を行いました

身近な環境の問題に対し「自ら考え行動できる」を目標に、SDGs環境講座を行っています。

南小の講座では、SDGsを自分事として捉えられるように、身近に予想される大きな変化（気候変動など）は誰もが取り組むべき問題であることを伝えました。講座はあと2回行い、夏休み中には地域の事業所での体験活動も行います。

▼これまでの取組みは町ホームページで公開中



Q エスディージーズってなに？

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されています。

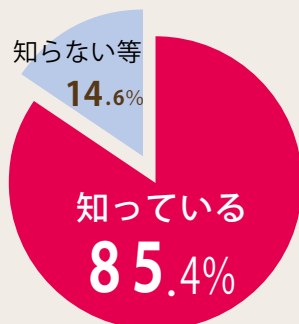


身近なことから始めてみよう SDGs

SDGs が採択された「国連持続可能な開発サミット」の開催日である9月25日を含む毎年9月末の1週間は、SDGsの推進と達成に向けて意識を高め、行動を喚起する「SDGs週間」です。

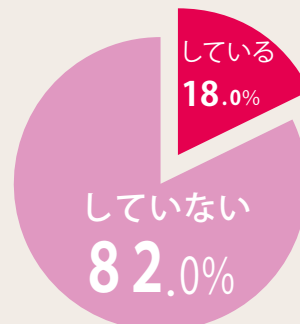
町民アンケート※によると SDGs を知っていて行動している人は **18%** です。

●SDGs という言葉を知っていますか



SDGsを知っている人のうち

●SDGs を意識し、何らかの行動を起こしていますか



SDGsを知っていても意識して行動している人は少ない

SDGs 週間をきっかけに、ごみの分別やリサイクル、電気をこまめに消すこと、ご飯を残さず食べることなど、身近なことから始めてみませんか。



◀町の取組みや身近な SDGs 取組み事例などを掲載中
詳細 役場3階 企画課 企画調整係 ☎981・8279

みんなで取り組む



SDGsの達成には、一人一人の取り組みの積み重ねが必要です。町のホームページでは、町の取り組みや身近な事例を掲載しています。ぜひご覧ください。

詳細／役場3階 企画課
企画調整係 ☎981・8279

取り組み事例はこちら▶



冬季フードドライブにご協力ください

品質に問題がないものの、やむなく捨てられてしまう食品を寄付していただき、行政・社会福祉協議会・支援団体等を通じて、食べる物がなく困っている方々にお渡しします。

とき／1月4日(木)～31日(水)
8時30分～17時15分(開庁日・開館日のみ)

ところ／役場1階・福祉介護課
まほろば館1階
町防災センター
町地域交流センター
町社会福祉協議会窓口(町福祉センター1階)

主催／認定NPO法人フードバンクふじのくに
詳細／役場1階 福祉介護課 地域福祉係
☎981・8214

食べ物を寄贈する時の注意

- 生鮮食品・保存水・アルコール類(ノンアルコール飲料含む)・栄養ドリンク・健康食品・もち米はご遠慮ください。
- 賞味期限が2カ月以上ある、原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- 缶詰などの副食が喜ばれます。



みんなで取り組む



清水小学校6年生

わたしたちの総合計画

未来の清水町を「より〇〇な町へ！」



清水小学校6年生が「総合的な学習の時間」の課題として「わたしたちの総合計画」に取り組んでいます。町の総合計画をもとに、子どもならではの視点で「こんな町にしたい！」と提案を一人一人考えています。

1月26日には、役場の職員を交えてのグループ討議の中で、自分の提案について考えを深めました。総合的な学習の時間を通して、子どもたちは町の一員としての自覚と思いを膨らめています。

今後、小学校での「総合的な学習の時間」の集大成として、町長、教育長に提言することを目指しています。